

SANSHIN GROUP Monthly Report on the ESG Sep.



INDEX

1. サンシンググループ 経営理念
2. サンシンググループ 経営ビジョン
3. 「徳のある商人」を育成するために
4. TOP MESSAGE
5. グループ社員による今月のつぶやき
6. ESG Report（品質）
7. ESG Report（環境）
8. ESG Report（地域貢献活動）

我々はお客様を愛し愛される 徳のある商人を目指し 世界の文化文明の発展に貢献する

● 経営ビジョン

お客様満足度の向上 / 利益ある成長・発展

● 代表挨拶

弊社は、さまざまなメーカーの電子部品を取り扱い、商社機能とメーカー機能を兼ね備える技術商社です。お客様のニーズに応じた最適な技術シーズを提供し、多様な提案を通じて、事業成功のお手伝いをさせていただきます。

「徳のある商人」であることを企業理念に掲げ、創業から60周年を迎えます。これからも変わらぬ価値を提供し続け、絶えず成長と発展を探求してまいります。引き続き、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 石井 宏宗

～「徳のある商人」を育成するために～



自身の経営貢献

- 経営理念から個人目標まで体系的に展開し、自身の企業貢献を明確化
- 自発的にチャレンジしやすい環境

経営参画

- 若手メンバーで中期経営計画作成プロジェクトを行い、新規事業や社会貢献をアイデア&ドリーム
- 経営事業報告会や月次/週次ミーティングで経営状況や方針の情報共有

キャリア

- 年齢・性別関係なく役職に抜擢され、キャリアを構築できる仕組み
- EIGYO育成プログラムによる一人一人の細やかな成長支援

知識・資格・学び

- 社内大学「サンシン大学」：経営・法務・営業・技術・品質管理・WEBマーケ・生成AI・語学・健康などの講座をリアル/オンラインで開講（就業時間内、会社負担）
- 資格取得支援（簿記・TOEIC・ビジ法・QC検定・MBA/MOTなど）
- 工場見学、企業見学、研修会、YAMINABE会



働く環境

- 社員の働く環境の整備
 - ① 育児休業中の給与補助
 - ② 育児短時間勤務中も給与維持
 - ③ こども手当
 - ④ 介護にあたる社員への柔軟なサポート
 - ⑤ 在宅勤務・テレワーク対応
 - ⑥ 扶養家族のいる社員への人事評価加点
 - ⑦ 勤務間インターバル制度
 - ⑧ 時間単位の有給休暇取得制度
 - ⑨ メンタルヘルスの一環としてオンライン相談フォーム設置（匿名可）
 - ⑩ パワーランチ制度による昼食負担軽減
 - ⑪ オフィスグリコによるリフレッシュ効果
- 「健康優良企業」「健康経営優良法人」等、外部認証の取得
- 副業兼業可能

ネットワーク

- 新入社員へのメンターによるサポート
- 入社後研修で東京・関西などの社員とのフラットな業務交流
- 社内交流会、懇親会、コンパの開催

TOP MESSAGE

日本でも先月、河川氾濫・大雨・土砂災害・高潮などの警戒が発令されましたが、今回は香港で運用されている警戒警報について紹介します。

香港では 台風シグナル（1・3・8・9・10） と雨シグナル（Amber・Red・Black） が発令され、特に T8 と Black Rain は “外出禁止レベル” とされ、生活インフラがほぼ停止します。

交通・郵便・宅配・職場・学校・工事・引越しなど、日常の動線に直結するため、この2つが出た際は「即時行動：外出しない・予定を止める」が基本となります。

HKで異なるシグナル体系が存在することを知っていただければ幸いです。

■ 台風シグナル (Tropical Cyclone Warning Signals)

- ・シグナル1：接近中。通常生活。
- ・シグナル3：強風。屋外作業注意。
- ・シグナル8：交通ほぼ停止・職場休業。外出禁止レベル。
- ・シグナル9：暴風がさらに強まる。窓際危険。
- ・シグナル10：最高レベル。破壊的暴風。

■ 雨シグナル (Rainstorm Warning Signals)

- ・Amber Rainstorm：強い雨。注意。
- ・Red Rainstorm：冠水・交通遅延。外出は避ける。
- ・Black Rainstorm：最悪レベル。外出禁止・交通停止。


 SAR Government

香港熱帶氣旋警告信號

Hong Kong's Tropical Cyclone Warning Signals

1

T

雷暴

Standby

3

⬇

強風

Strong Wind

8

西北
NW

▲

西北烈風或暴風

NWLY
Gale or Storm

8

西南
SW

▼

西南烈風或暴風

SWLY
Gale or Storm

8

東北
NE

▲

東北烈風或暴風

NELY
Gale or Storm

8

東南
SE

▼

東南烈風或暴風

SELY
Gale or Storm

9

⌘

烈風或暴風力增強

Increasing
Gale or Storm

10

+

颱風

Hurricane

1





三新電気香港有限公司
代表取締役総経理 兼 C.O.O.
新井 晶

グループ社員による今月のつぶやき

SANSHIN East

9月1日～10日の東京都心の日照時間は7.4時間で、統計開始以来、最も少なかったそうです。日照不足が続くとどうなるか-気分や感情をつかさどる脳内の神経伝達物質「セロトニン」の働きが鈍り、気分の落ち込みにつながるのだそうです。また、日光によって制御されている体内時計も乱れやすくなるの事。雨や曇りの日でも起きたらすぐにカーテンを開けて外の光を目に入れることが重要です。（Y.Y.）

SANSHIN West

国交省の災害情報を見ると、豪雨や台風による水害と地震の発生が同時期に並んでいます。地震と水害に直接的な関連性はありませんが、地震の多い日本では異なる災害が同時期に発生する「複合災害」が起こっていると言えます。7月～8月だけでも大きな地震が数回起こり、記録的な豪雨も毎週発生し被害が拡大しました。このように災害は一つずつやって来るとは限りません。複数リスクを想定し、避難場所や避難経路、備蓄品を改めて確認、家族や地域・職場で連絡方法や安全確保対策を共有しておくことが大切です。（N.K.）

SANSHIN Hong Kong

中国の風力発電は、世界をリードする急成長を遂げています。2025年は、太陽光と併せて電力の26%を占める月も記録されました。これによりCO2排出が大幅に削減され、世界の再生可能エネルギー分野で中国の取り組みが注目を集めています。オフショア風力の拡大も進み、持続可能な未来の実現に大きく寄与することが考えられます。（A.W.）

SHINKOWA

9月21日の台風での豪雨影響がありました。また工場近くの場所でも雨水が抜けず床上浸水した建屋が何軒もあったそうです。落花生・人参・里芋など畑の作物が影響ありそうで、テレビで見たことですが、農家さんも今後続けていけるか心配していました。千葉の印旛沼も堤防が壊れ氾濫したそうです、早く復興できることを願います。（M.N.）

SC2

【不自然な自然】日本は亜熱帯なのかと思うほど、近年の夏は酷暑続きでした。今年も暑かった上に降れば土砂降り、ゲリラ豪雨という言葉がぬるく感じるほどの激しい雨。日本人はこういう時「自然には敵わない」と首を垂れる民族ですが、本当にこれは自然の働きなのでしょう。昔から日本人が生かされてきた自然とは何かが違う。そういう感度、違和感を見抜く力を大事にしたいものです。（M.I.）

ESG Report (品質)

サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

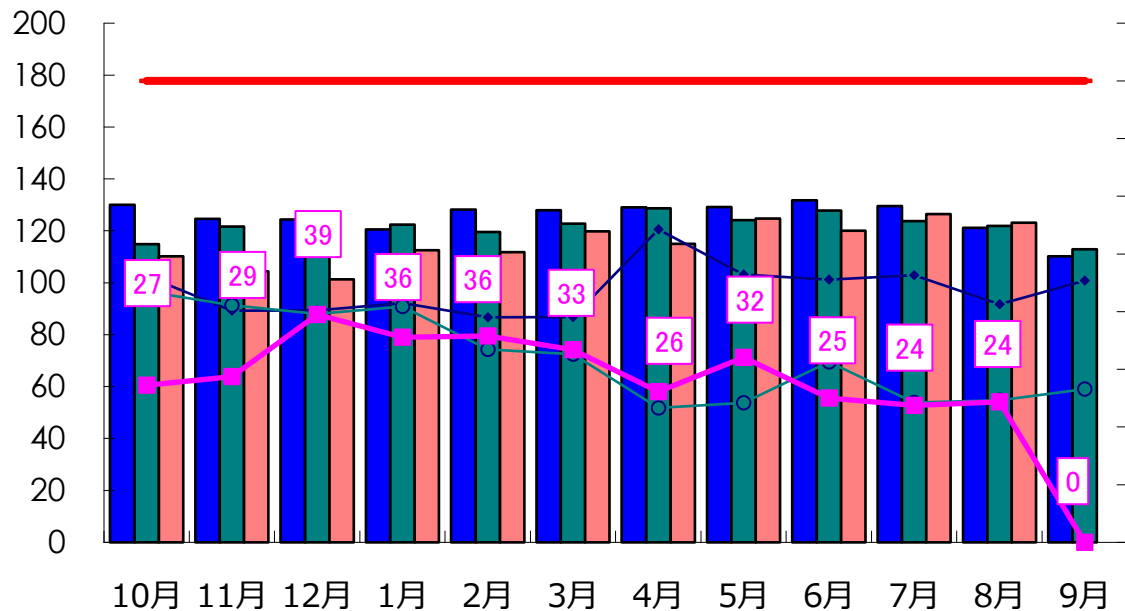
品質状況

納入品不良率（目標：80ppm）
48期の累計不良率(解析依頼含む)：24ppm

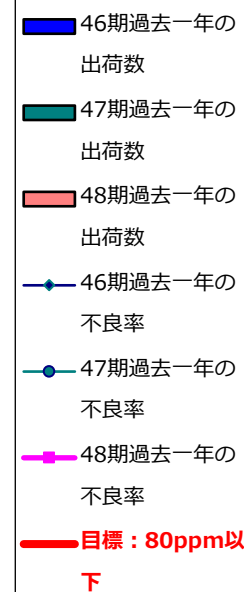
客先クレーム（目標：2件以下）：0件

48期 市場不良率「ユニット製品」

出荷数(K)

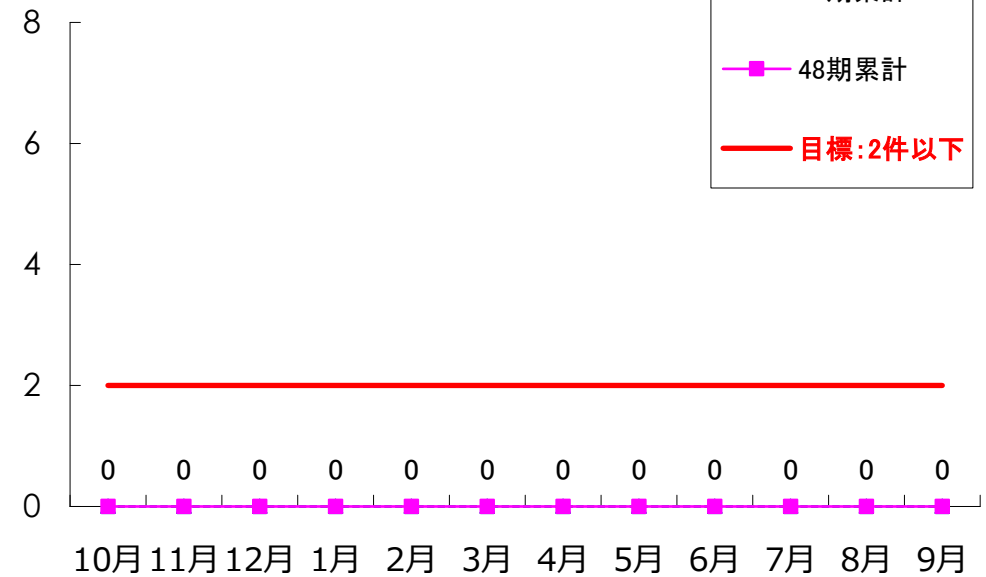


累計不良率(PPM)



48期 客先クレーム

件数

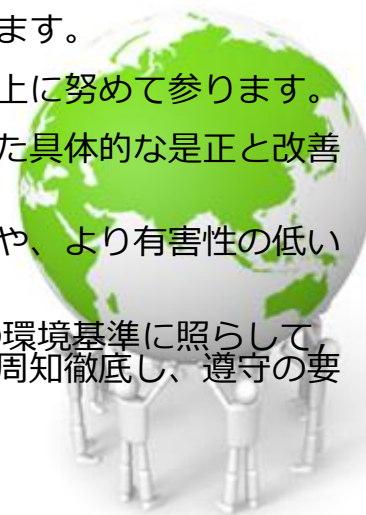


ESG Report (環境)

サンシングループの環境方針

サンシングループは、環境の保全と向上に関する企業活動を重要なCSRと認識し、継続企業の責務として、将来に渡り環境の保全と向上に貢献していくために、以下の環境方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も環境マネジメント・マニュアルを遵守し、お客様に信頼される継続企業として、環境保全と向上に努めて参ります。
2. 「紙・ごみ・電気」の低減を定量的に徹底管理し、地球環境の汚染予防をはかって参ります。
3. 独自性のあるイノベーション活動を通して、地球環境の汚染防止をはかって参ります。
4. 「安全・安心・快適」な職場環境を追求し、すべての社員が健康的に働くことのできる環境を実現して参ります。
5. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して環境の保全と向上に努めて参ります。
6. 環境マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかって参ります。
7. 環境放出化学物質の管理環境中に放出されると害を及ぼすと特定された化学物質については、使用量の削減や、より有害性の低い物質への代替、漏洩の防止などにつとめてまいります。
8. 製品に含まれる有害物質を特定し、「RoHS」等の法規制および「JAMPガイドライン」などの業界と顧客の環境基準に照らして、非含有およびそのための管理体制を遵守します。また、サプライチェーン上流の取引先にもこれらの基準を周知徹底し、遵守の要請を行ってまいります。



TOPICS

■ 飛行機もクリーンな乗り物に！持続可能なジェット燃料「SAF」とは？

カーボンニュートラルな社会を目指す上では、さまざまな領域でCO₂削減に取り組む必要があります。飛行機を使用する際に排出されるCO₂の削減も、そうした課題のひとつです。そこで期待されているのが、ジェット機の燃料をクリーンな燃料である「SAF」に置き換えていくこと。今回は、SAFとはどのようなものか、あらためて基礎知識をおさえ、原料や製造方法の今を見ていきたいと思います。

☑ 飛行機におけるCO₂削減のカギ、「持続可能な航空燃料（SAF）」とは？

「SAF」とは、「持続可能な航空燃料（Sustainable aviation fuel）」のこと。廃食油、微細藻類、木くず、サトウキビ、古紙などを主な原料として製造され、従来使用されている化石燃料（石油など）からつくったジェット燃料とくらべ、CO₂削減効果があると考えられています。たとえば、SAFの一種であり微細藻類や木くずからつくられる「バイオジェット燃料」は、燃焼させるとCO₂を排出しますが、その元となるバイオマスはCO₂を吸収して再生産されるため、全体として見れば大気中のCO₂が増加しない燃料とみなすことができます。

SAFを航空機に搭載して使用するためには、世界最大規模の国際規格標準化団体「ASTM International」が策定・発行する規格に適合していることが求められます。また、国際規格により、化石燃料からつくったジェット燃料に混合して使用することが求められ、最大で50%まで混合することが可能となっています。



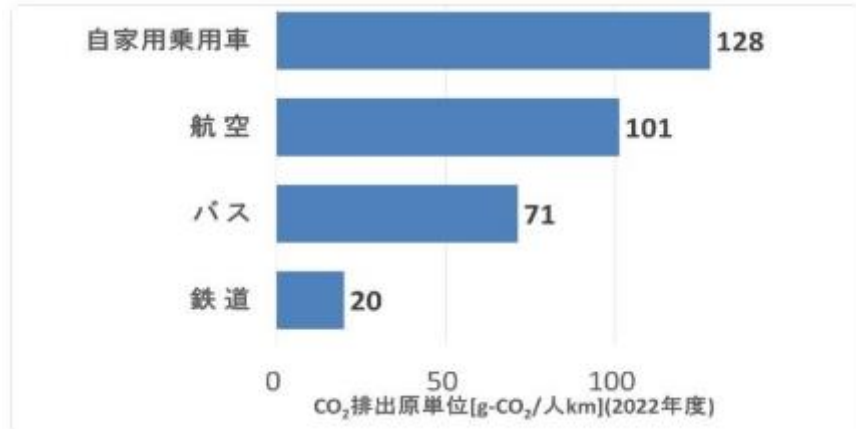
（出典）国土交通省 SAF（サフ）から抜粋

TOPICS

☐ 飛行機のCO2排出量と、CO2削減の取り組みの難しさ

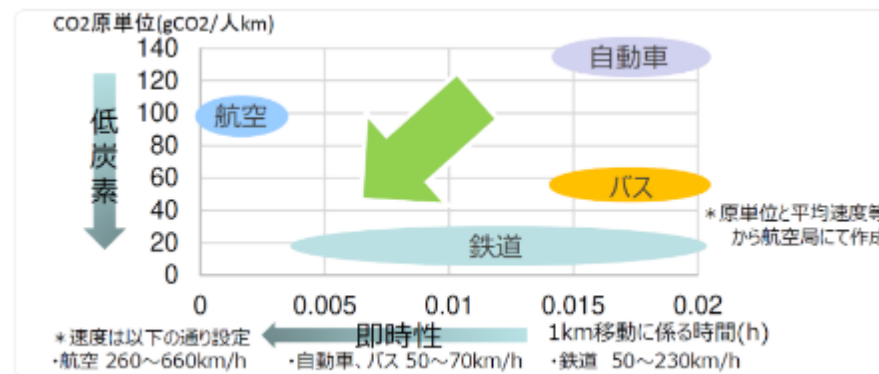
飛行機を利用した移動（航空）は、どの程度CO2を排出するのでしょうか。飛行機の利用にともなうCO2排出量は、下の図のとおり輸送量あたりの排出量で見ると、自家用乗用車に比べれば少ないものの、鉄道などのほかの公共交通と比較すれば多いと算定されています。

■輸送量当たりの二酸化炭素の排出量（旅客の場合）



（出典）温室効果ガスインベントリオフィス「日本の温室効果ガス排出量データ」および国土交通省「自動車輸送統計」「航空輸送統計」「鉄道輸送統計」より、国土交通省作成

■輸送モード別の原単位と移動に関わる時間

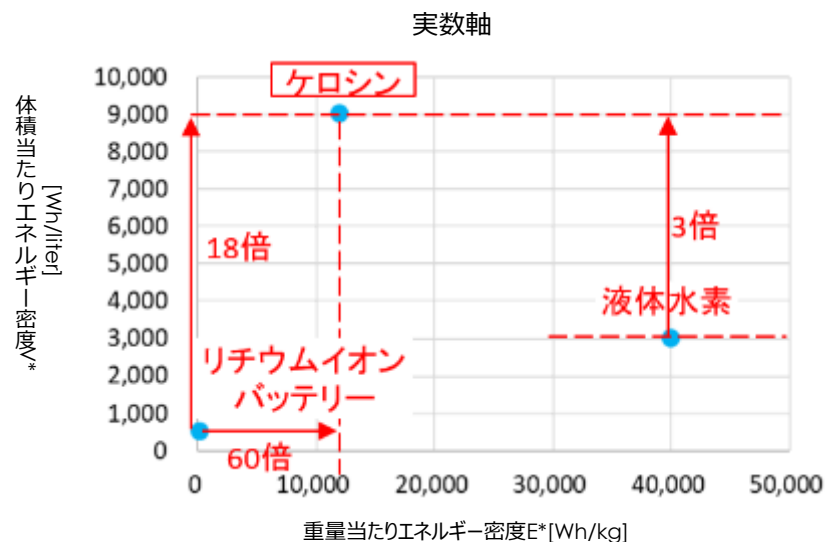


出典）第9回交通政策審議会航空分科会 国土交通省航空局作成資料「航空を取り巻く状況と今後の課題（その2）」

こうしたCO2排出量の多さから、欧州を中心に、飛行機の利用を「飛び恥」として懸念する動きも出ていることは皆さんもご存じでしょう。しかし一方で、CO2の排出量原単位（活動あたりのCO2排出量）と移動時間の関係を見れば、必ずしも「航空を使用しない」という選択肢を取れるわけではありません。特に、私たちの住む日本は島国であり、海外との往来を航空に依存しています。加えて現在は、外国人旅行者を誘致することも求められています。

TOPICS

では、電化などの方法でCO₂排出量を減らすことはできないのでしょうか？しかし、これにも問題があります。現在飛行機で使用されているジェット燃料（ケロシン）は、単位重量当たりのエネルギー密度が高い、つまりリチウムイオンや液体水素などと同じ重量でよりたくさんのエネルギーを生み出すことができるため、これをすぐに代替できる燃料は現時点では存在していないのです。



(出典) 「Electric Flight – Potential and Limitations, Martin Hepperle, German Aerospace Center, Institute of Aerodynamics and Flow Technology (Martin Hepperle)」より国土交通省航空局作成

現状使用されている燃料であるケロシンは、
・リチウムイオン電池の重量当たり約60倍、
・液体水素の体積当たり約3倍
の高エネルギー密度を有する。

それでも、カーボンニュートラルを実現するためには、航空のCO₂削減は必須です。世界的にも、航空産業におけるCO₂排出量削減に向けた、野心的な目標が掲げられています。航空業界の国際機関である国際民間航空機関（ICAO）は、2021年以降の国際航空輸送分野のCO₂排出量を、2019年のCO₂排出量（基準排出量）に抑えることを目標としています。さらに2022年10月に開催されたICAOの総会では、「2024年以降は、2019年のCO₂排出量の85%以下に抑える」という、きびしい目標が採択されました。SAFは、こうした目標を達成するための手法のひとつとして求められているのです。

TOPICS

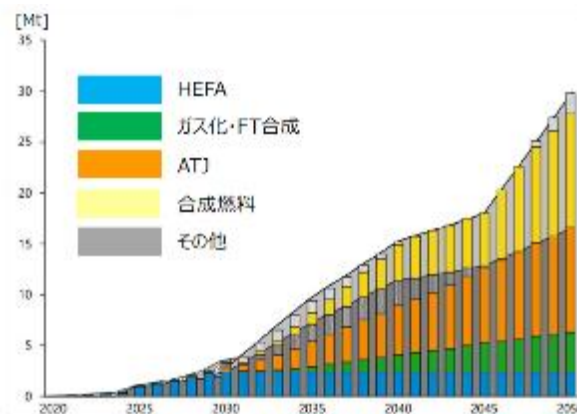
☐ SAFの原料・製造技術の今とこれから

ただ、2022年時点における世界のSAF供給量は、約30万キロリットル。これは、世界のジェット燃料供給量の0.1%程度にしかすぎません。現在、SAFの製造方法として確立しているのは、腐食油などを原料にする「HEFA」と呼ばれる技術です。しかし、腐食油は世界的な需要の増加によって供給量が不足し、価格が高騰しています。

SAFの原料のうち、理論的な総量（賦存量）が多いと見られているのは、米国・ブラジル産のバイオエタノールなどです。今後は、これらの原料からSAFを製造する「Alcohol to Jet」技術が確立することが見込まれていますが、バイオエタノールの原料となるのはサトウキビやトウモロコシなどで、このような可食原料（食べることでできる原料）は、欧州が利用を制限しています。そのため、マメ科の植物「ボンガミア」など、非可食原料の開拓といった原料の多角化も必要となっています。

■ 欧州の機関が発表した、将来のSAFの製造技術予測

製造技術	主な原料
HEFA Hydroprocessed Esters and Fatty Acids	廃食油、牛脂、ボンガミア、微細藻類等
ATJ Alcohol to JET	・第一世代バイオエタノール （さとうきび、とうもろこし等） ・第二世代バイオエタノール （非可食植物、古紙、廃棄物等）
ガス化・FT合成	ごみ（廃プラ等）
合成燃料	CO2、水素



（出典）Sky NRG「A Market Outlook on SAF」

また、CO2と水素を合成して製造される「合成燃料」（「エンジン車でも脱炭素？グリーンな液体燃料『合成燃料』とは」参照）由来のSAFについても、技術確立に向けた研究開発が進められています。製造技術予測では、合成燃料由来のSAFは、2050年にはSAF原料のおよそ半分を占めるようになる見込まれています。今後、SAFの導入を拡大していくためには、安定的な原料確保に向けた取り組みが必要不可欠です。さまざまな技術開発が進むことでSAFの利用がさらに促進され、航空のグリーン化へとつながることが期待されています。

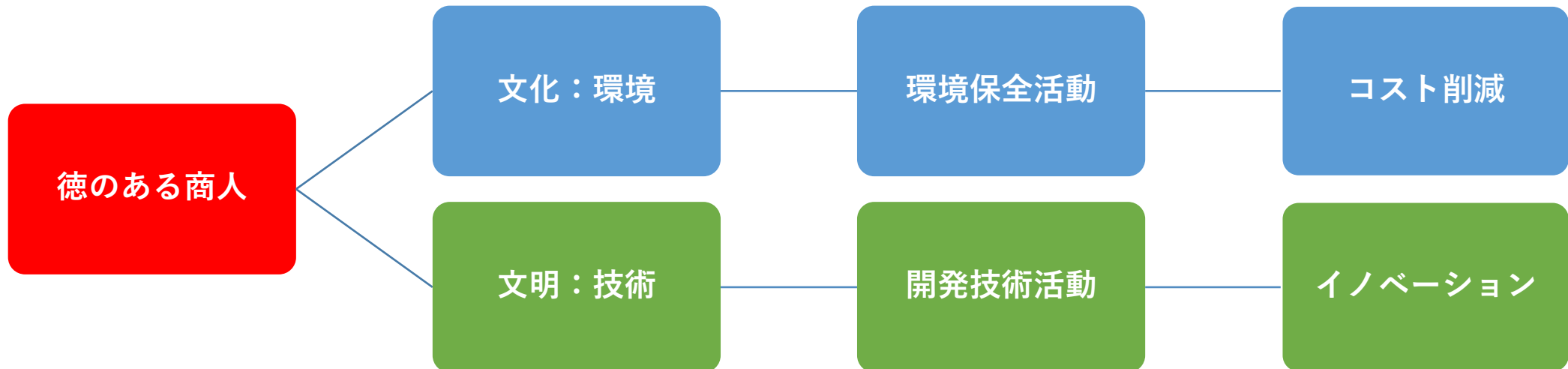
サンシングループ環境経営への歩み

1. 環境経営の基本マインド

＊サンシングループ経営理念

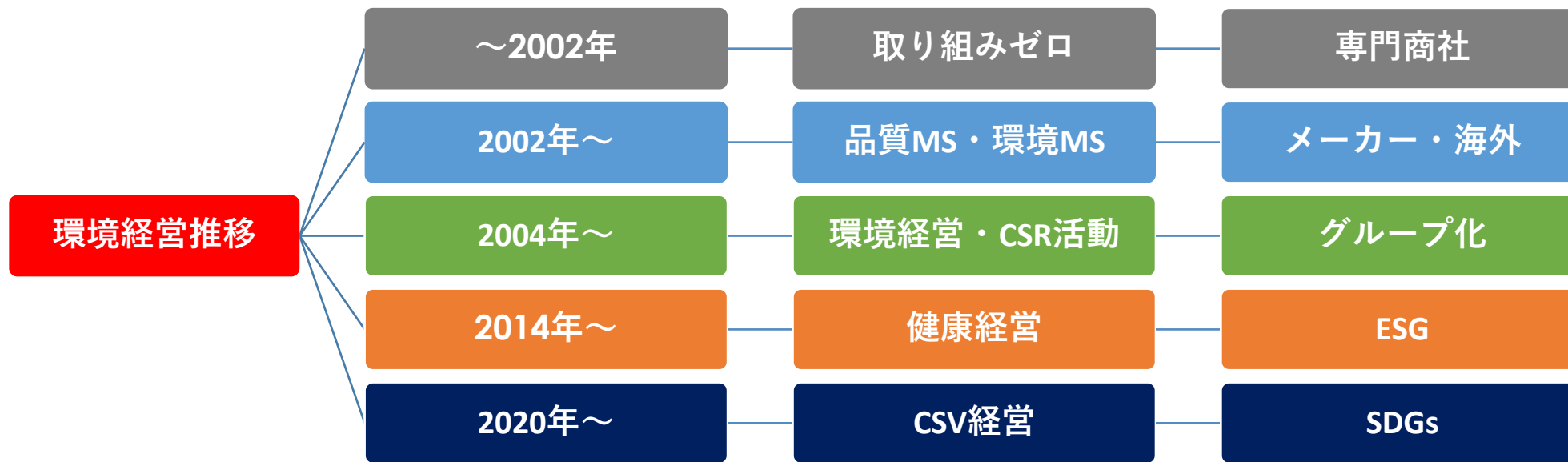
私たちは お客様を愛し お客様から愛される

徳のある商人を目指す：世界の文化・文明発展のために



2. 環境への取り組み

2002年から現在までの経緯



2. 環境への取り組み

～2002年

環境対応はコスト増の要因であり取り組む必要はないという認識.

2002年～

専門商社から海外商社，メーカーへと展開するなかで環境MSを整備.

2004年～

グループ企業体の発足に伴い経営理念を創設. CSRを能動的に展開.

2014年～

健康経営を標ぼう，以後，東京都認定.

2020年～

CSV経営を宣言，ESGとSDGsを重視.

3. コスト削減実績

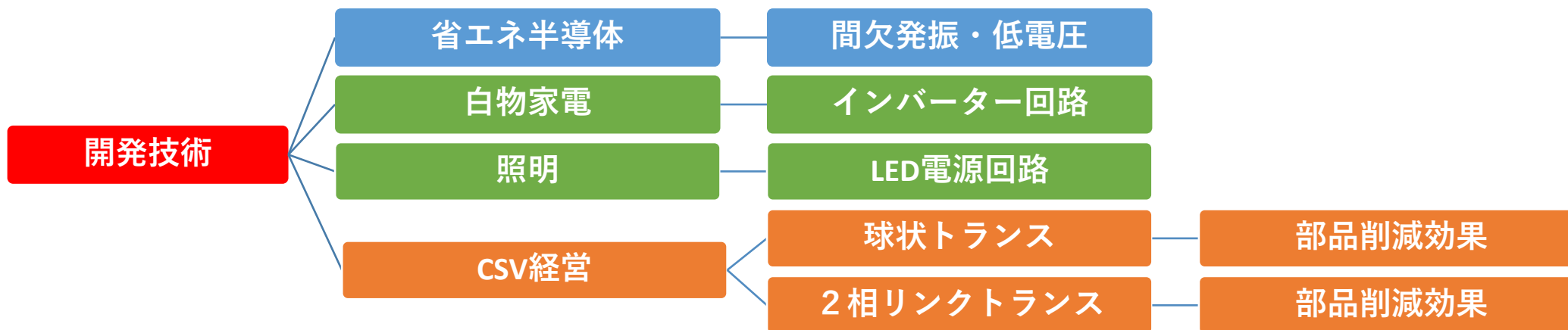
- **紙/ゴミ/電気**，三種の神器，徹底削減の継続
- **テレワーク**による電気/交通費削減
- 環境MS監査費用は増加（リアルコスト）
- 環境活動時間は増加（バーチャルコスト）
- コスト削減費用と増加費用の差額をマネジメント

⇒グループで年間約4,000万円※のコスト削減を実現！

※2004年度対比

4. イノベーション事例

- ・ 環境保全の開発技術ビジネス



4. イノベーション事例

省エネ半導体

専門商社として拡販

白物家電

白物家電向け**インバーター回路**の設計

照明

LED照明用の回路設計および電源製造

CSV経営

環境保全を鑑みた電子部品を**自主開発**

環境とイノベーションを結び付けた技術開発

CSV経営 モノ×コト＝価値創造

5. Scopeの対応

- Scope 1：該当なし
- Scope 2：電気排出量のみ（J/C/P合計）
『ESGレポート』掲載
- Scope 3：該当事項のみ集計
 - 4：輸送配送
 - 5：廃棄物
 - 6：出張交通費（旅費除く）
 - 7：従業員交通費

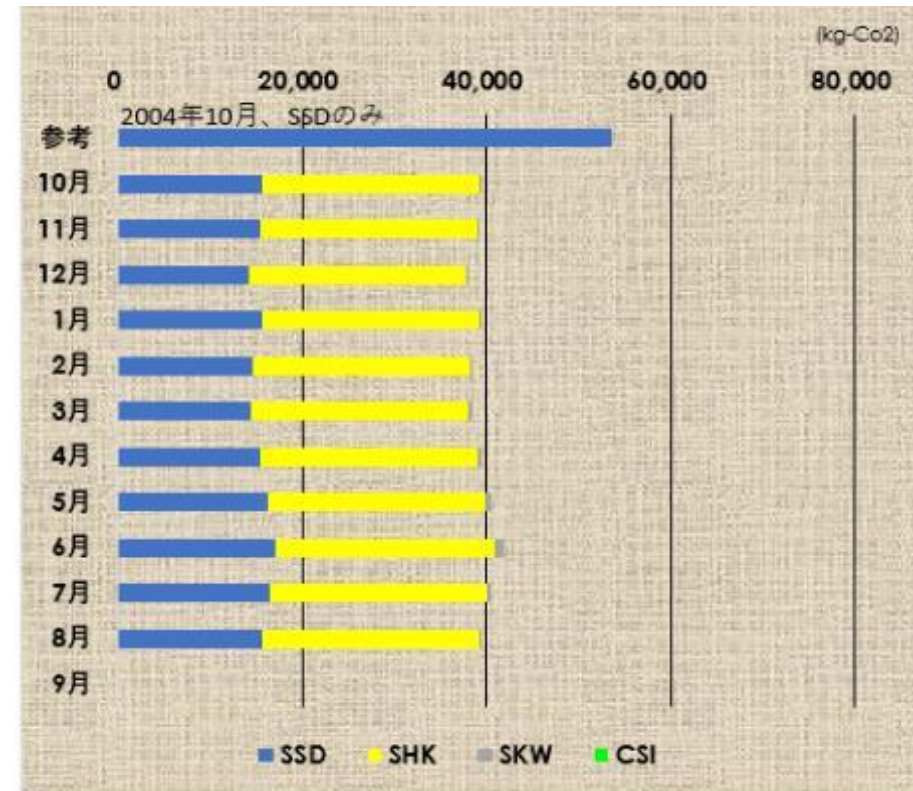
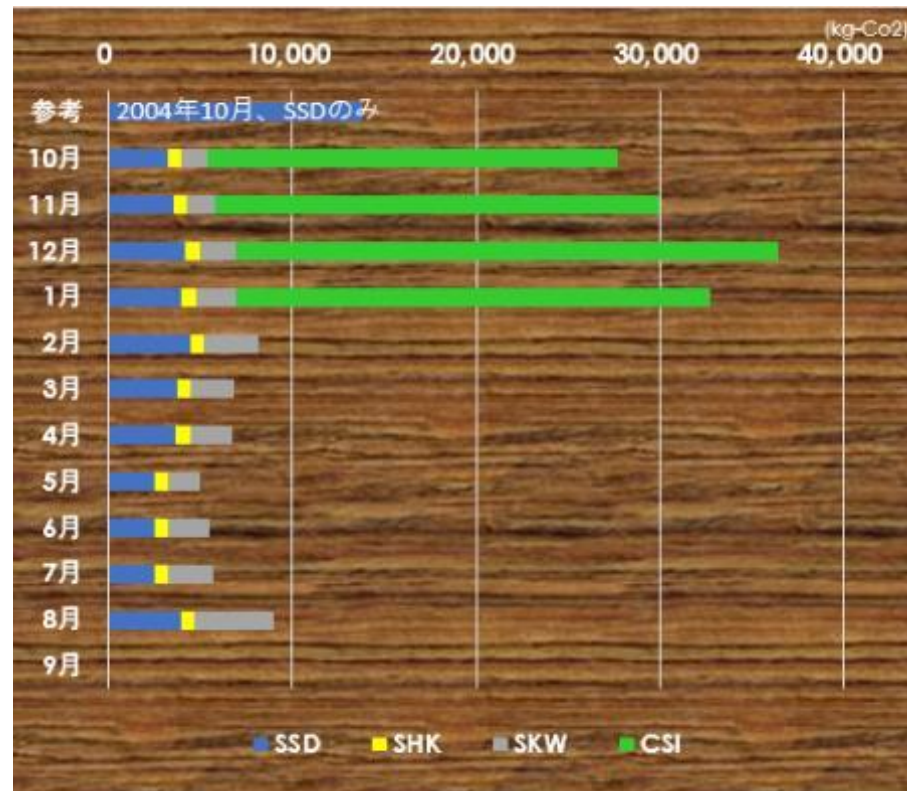
6. まとめ

- ・ほとんどのSME他社が取り組んでいない項目だからこそ「進取の精神」で取り組みます！
- ・事業活動の中で可能な小さいことからコツコツ継続します！
- ・環境保全活動はコスト削減とイノベーションのきっかけになります！
- ・サンシンググループはこれからもサステイナブル企業としてサステイナブルな社会のために環境保全活動に取り組めます！

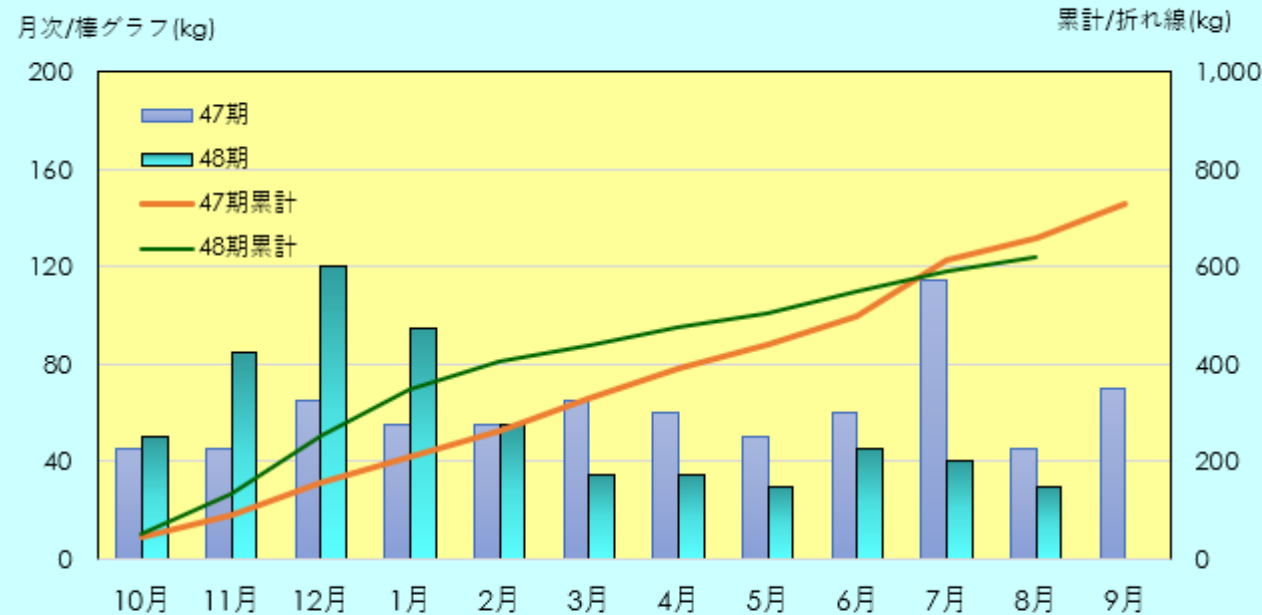
SSGサプライチェーン排出量

サンシングループではサプライチェーン排出量前年比▲5%に取り組んでいます

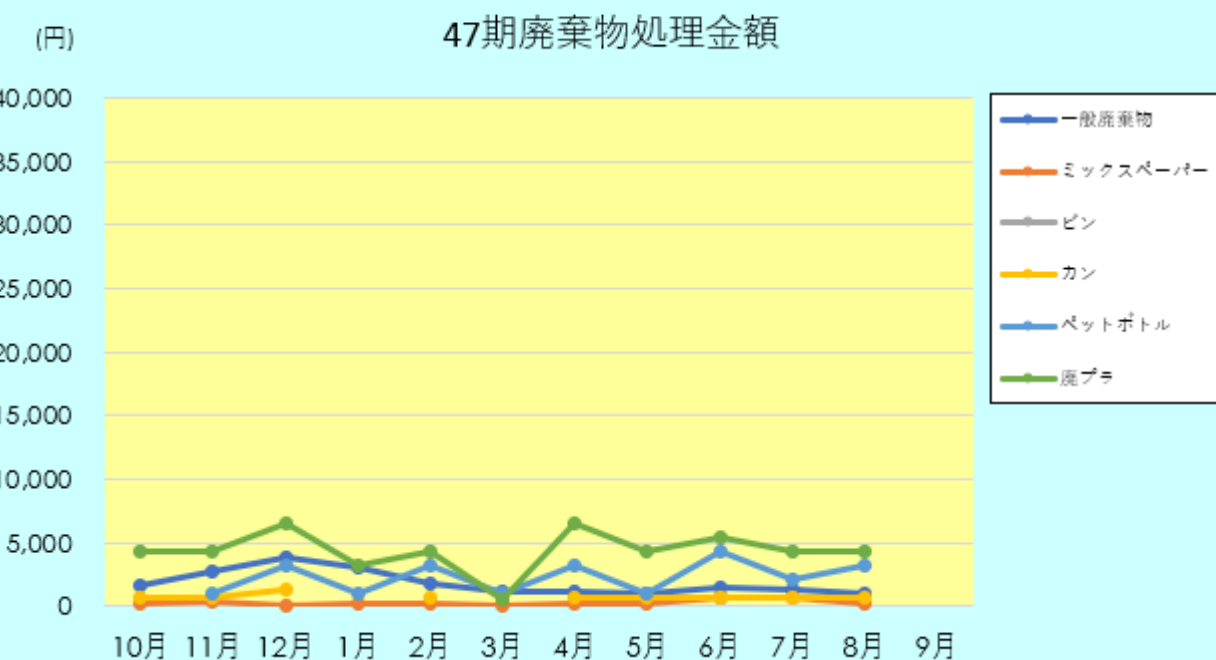
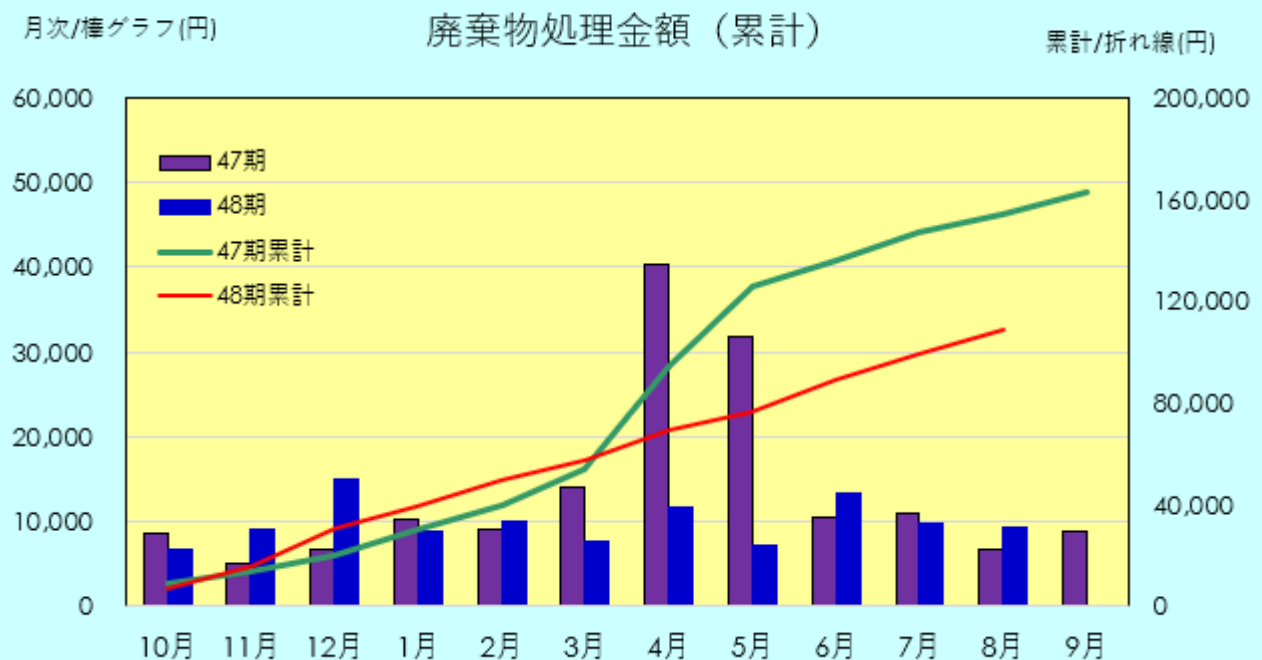
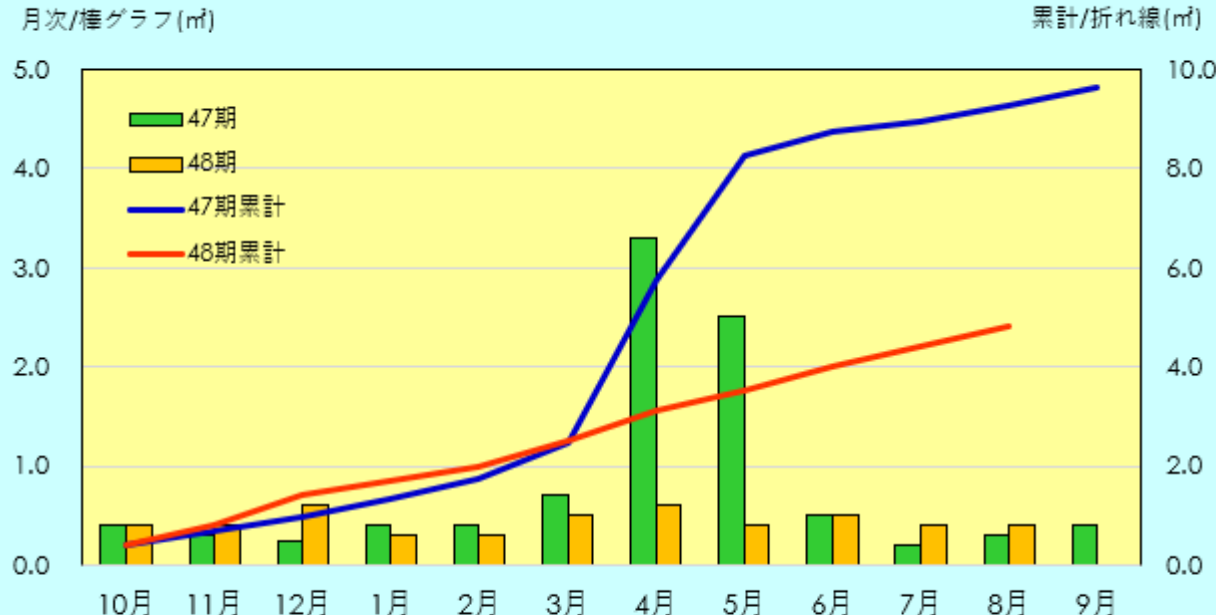
- Scope 1：該当なし
- Scope 2（他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出）
- Scope 3（事業者の活動に関連する他社の排出）



一般廃棄物（SSD/本社）



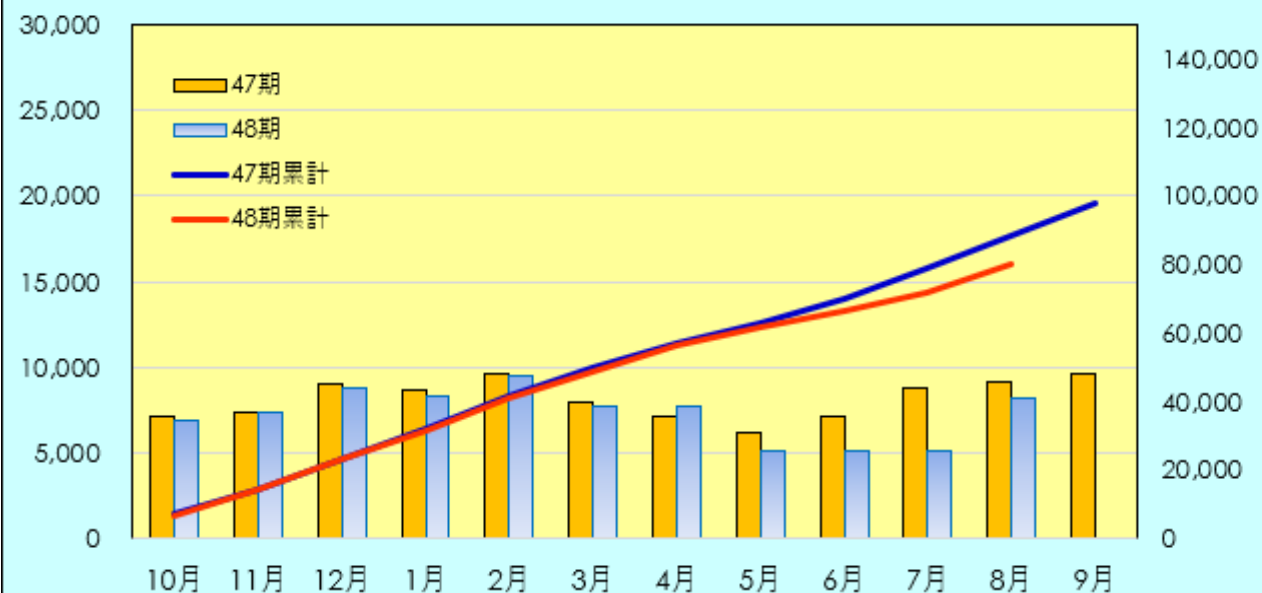
一般産業廃棄物（SSD/本社）



電力使用量 (SSD/本社)

月次/棒グラフ(kwh)

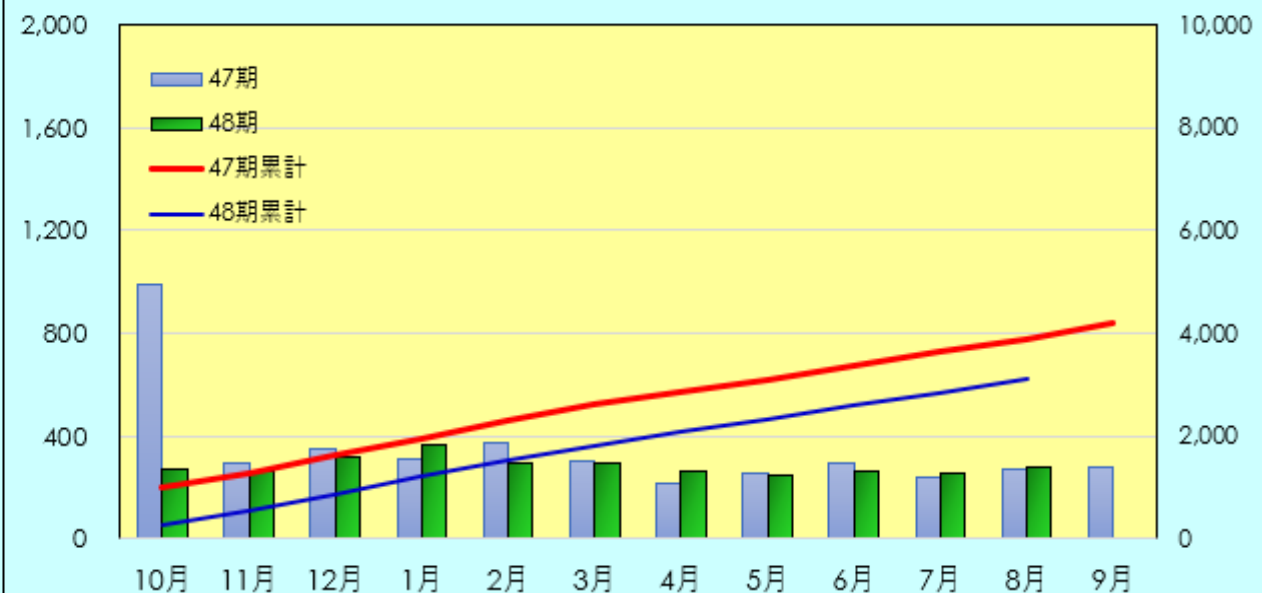
累計/棒折れ線(kwh)



電力使用量 (SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ(kwh)

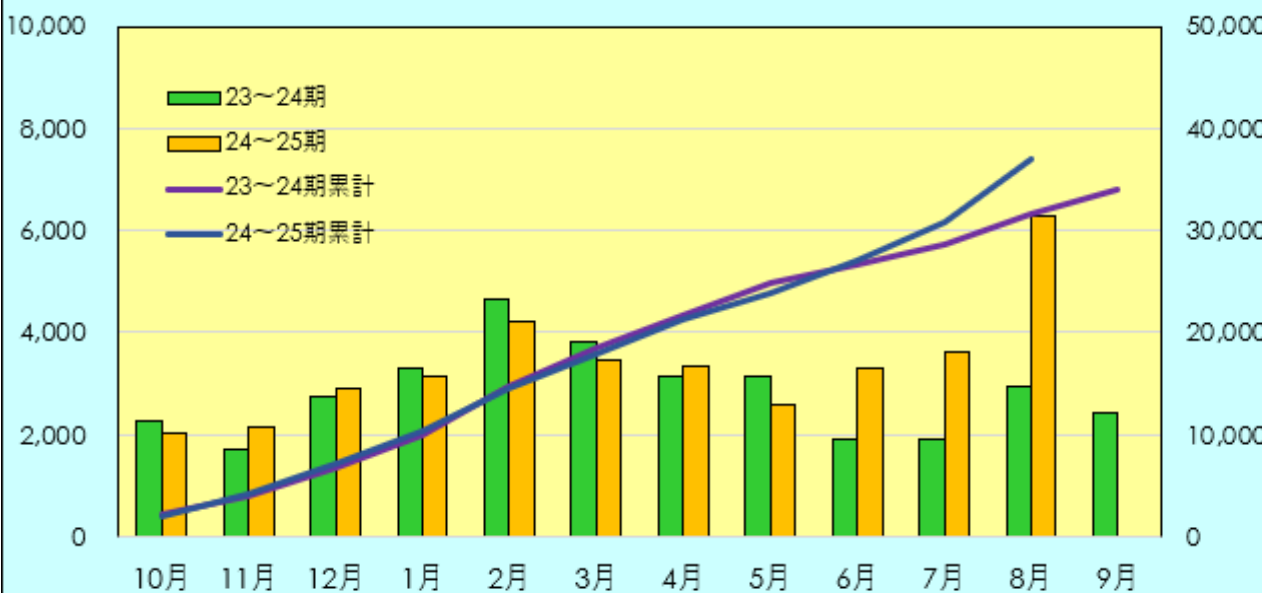
累計/棒折れ線(kwh)



電力使用量 (SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ(kwh)

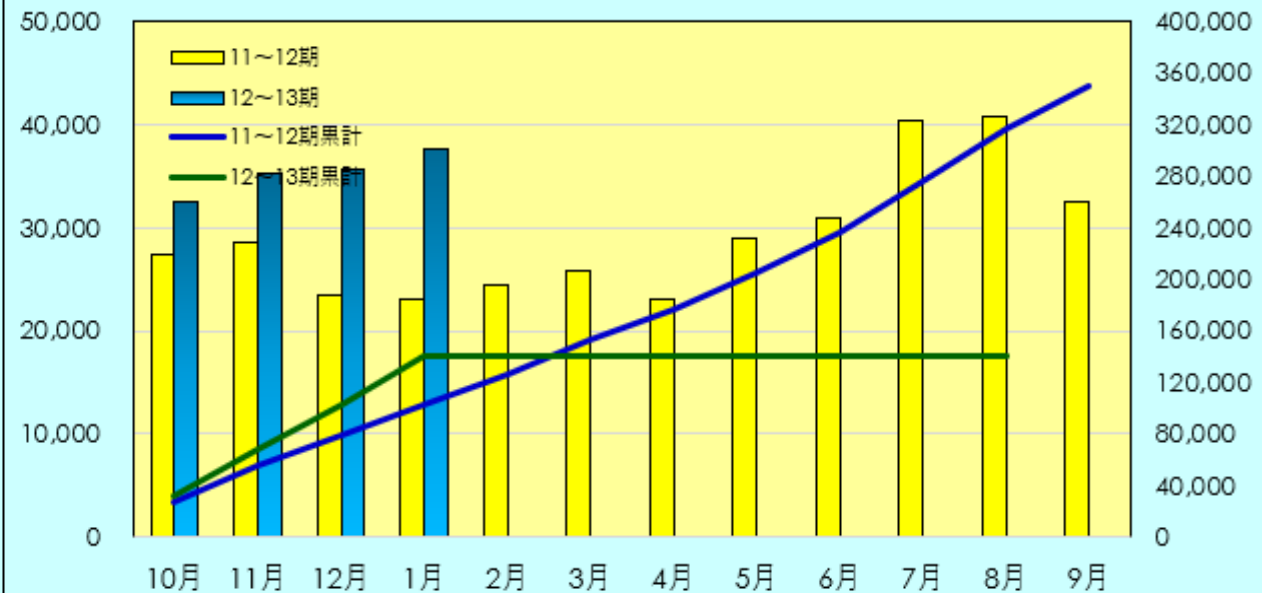
累計/棒折れ線(kwh)



電力使用量 (CSI)

月次/棒グラフ(kwh)

累計/棒折れ線(kwh)



ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

今月のTOPICS

●非常時を想定した避難訓練・通信訓練・AED訓練を実施しました！

9月18日にサンシン電気本社・関西営業所および新光和朝日工場にて、地震を想定した避難訓練・通信訓練・AED訓練を実施しました。停電・ネットワーク不通の状況を想定し、衛星通信や無線通信を実際に使用する訓練も行いました。さらに本社では、屋上のソーラーパネルで発電した電力を使用して携帯電話を充電するテストも行いました。

参加者からは「防災意識が高まった。」「非常時は訓練を思い出して行動したい。」という声がありました。

今後も定期的な訓練を通じて、防災意識の定着と安心して働ける職場づくりに努めてまいります。



地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（8月参加人数：延べ4名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入
- 飼い主のプロを育てる「ドッグライフアカデミー」を創設

